

○行田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 利用者の同意を得て主治医等に提供する情報は、担当職員の裁量に任せるのか。

答 利用者の生活や心身の状況は、利用者ごとに異なるため、介護予防支援事業所の担当者も自立支援、重度化防止の観点から適切に判断を行うものである。

○平成30年度行田市介護保険事業費特別会計補正予算

問 システム改修による介護認定審査会簡素化の実施時期は未定であるという理由は。

答 コンピューターの抽出結果で二次判定をすることで、個々の状況を見きわめるための審議が簡素化することによって慎重な意見があるため、現段階では審査会の簡素化の実施はしない予定である。

議会運営委員会

6月13日には付託を受けた請願2件の審査を行い、不採択と

しました。また、28日には、議会運営委員の辞任に伴い次の委員が選任されました。

○議会運営委員会委員

委員長	香川 宏行
副委員長	秋山 佳子
委員	野口 啓造
委員	江川 直一
委員	野本 翔平
委員	高橋 弘行
委員	加藤 誠一

議員表彰

全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の各定期総会において、次の2名が市議会議員として永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により表彰されました。

○市議会議員在職15年以上

野口 啓造
香川 宏行



議長から表彰を受ける議員

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

6月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※6月定例会の会議録は9月に発行予定です。



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

合併後の状況

新市建設計画の

進捗状況について

吉野 修
(黎明21)

●主要事業の進捗状況
問 この計画では新市のまちづくり実現のため123の主要事業を設定している。その進捗度は。

答 完了は13事業、施行中は110事業である。
問 合併特例債を活用したハード事業の実績は。

答 平成29年度末時点で、旧行田市地域では42事業、総額約93億円、旧南河原村地域では5事業、総額約2億6千万円である。
問 新市建設計画は残りの期間が3カ年度である。合併特例債の活用も含め、今後の進捗は。

答 今後は「第5次行田市総合振興計画」など、他の計画の推進とあわせ、総合的に事業の実施を図っていく。また、合併特

例債の活用については、事業の必要性や社会経済情勢、本市の財政状況等を踏まえ、適切かつ有効にその活用を図っていく。
●南河原支所の在り方
問 新市建設計画では旧役場総合庁舎を地域における行政サービス、住民参加のまちづくりの拠点と位置づけ、必要な機能の充実と職員の配置を進めるとある。計画終了後の支所の在り方は。

答 本市としては、新市建設計画の終了と南河原支所の在り方については切り離して考えるべきものと認識している。
問 支所は屋上防水シート

の経年劣化や空調設備の不具合などがあるが、改修を行う考えはあるか。
答 施設の改修は計画的に進めていく。

【その他の主な質問】
○アスベスト被害
○学校の情報システム